

深沢けんいち と共に考えて

発行 大地を考える会
TEL 0287-54-3944
携帯 080-3214-4851

1. 前市長派が抵抗勢力に！！

前市長には全て従う多数派議員は議員の職務を忘れ、お先棒を担ぎ、私深沢が行政の意に反したと私の広報活動を妨害するために

1. 議員活動停止処分
2. 公務自粛処分中の議員報酬削減
3. 屯田兵通信の新聞折り込み配布妨害

など多数で決めつけた。

その多数派の議員は市民の意志で選ばれた現市長にはすべて反対、行政の改革を妨害する抵抗勢力としてのみ、その存在感を示すように成り果てた。

私はこれまでのように、市民の立場で公正な行政が行われるよう、行動し、皆さんに情報を提供する決意です。これからも共に考え、行動していきましょう！。

2. これからの行政と市民の意識改革を

限られた予算をいかに有効に使うのか、国だけでなく、全ての地方自治体に課せられたこれからの難問です。

議員が地域、職域、団体の利害代表として、選ばれ、働くのではなく、公正な行政運営のためのチェック機関としての役目を果たさなければなりません。

そのためには市民の意識を変えなければなりません。

全市的に公正な眼のある議員を選んでください。

3. 市の公金紛失が発覚する

公金とは市民の血税であり、その血税が紛失していることを一年近くも放置しておいて今年の三月十二日（市町選投票日の二日前）に被害届を大田原警察署に提出した。市民の生活に重大な損害を与え兼ねない案件に議会への報告が遅れ、「捜査当局に一任したのだから議会が口を挟めば捜査を混乱させるので報告が遅れた」とする前市長及び行政執行部の態度は議会軽視も甚だしい。この件に関しては逐次報告していきます。

4. これでいいのか大田原市議会！

市長選挙の結果示された“民意”を踏まえて4/12臨時議会が召集され、新市長から副市長二名から一名、教育長人事、それらに関する条例改正案が提出されたが、旧市長を礼賛信奉する市議会会派の真政会、公明クラブの計17名の議員は新市長の提出した議案を尽く否決した。（詳細は4/13付けの下野参照）

- ①その行為は明らかに3/14市長選での市民の民意をあざ笑うかの如きものです。
- ②副市長を二人制から一人制にして少しでも人件費を抑えることのどこに反対なのか！前市長への忠義のためか？
- ③黒羽統合中箱モノ作りには熱心に取り組んだ議員が教育長人事を否決する。仏像つくって魂入れずとは理解に苦しむ。
- ④地方分権化が一段と進む中、限られた財源で財政運営を強いられる地方自治体、とりわけ大田原市は合併特例債をフル稼動し、中心市街地活性化事業、水辺公園整備事業、記念樹の森公園事業等々……。これらのつけで、次世代の大田原市民は市内から逃げていく事にならないように。
- ⑤ある意味で市長と議会が政策の中身で対峙し、市民に対して責任ある行政運営をしていこうとするならば、大田原市議会は二元代表制の議会として機能するはずだが、多選の前市長に忠臣として従ってきた議員諸氏には根本的に勘違いをしているのではないかと危惧するところです。

5. これからの大田原市の課題とは

1. 来年から国からの予算も一括交付金として地方自治体に交付されます。自主財源が少ない地方自治体とりわけ大田原市は限られた財源をいかに有効に活用し、運用していくかが全市民的大きな問題とならざる得ません。
2. 行政は市民に情報公開し（公金紛失事件の如き市の隠ぺい体質などは言語道断だが）市民参加型の行政改革を断行していく必要がある。
3. 行政改革を担える議会改革は大田原市の場合、必要不可欠の課題です。二年半の市議会議員として痛切に実感しました。
4. 大田原市の場合、前市長時代の事業の仕訳を市民参加でなしきる必要があります。素晴らしい事業は継承しつつも、時代状況にそぐわないものは財政的にかつ費用対効果の視点で検証する事が必要です。
5. そして改めて大田原市の地域資源を再確認し、それらを活かして特色ある地域活性化、地産地消を通して特色ある大田原市を創造していくのが最大の課題だと思います。

御協力を！

政治活動と屯田兵通信発刊のためにカンパをお願いします。

一口 500円からお願いいたしております。

◎振込先 「大地を考える会」代表 深沢賢市

郵便貯金記号10750-2 番号10108331

市政へのご意見も寄せて下さい。

Tel : 080-3214-4851